



最新の人口推計をチェック！

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）は、国勢調査の結果などを元に、5年に1回、将来の人口推計を発表しています。通常であれば2023年3月に発表されるとみられていましたが、2023年12月末の公表となりました。新型コロナウイルス感染症の関係で、推計に必要な他の調査の実施が遅れたことが一因ではないかとみられています。さて、最新の推計でみえることはなにか、本紙関係地域の今後の人口推計をご紹介します。

国立社会保障・人口問題研究所推計人口（2023年12月発表）

2020年は国勢調査確定値。年少人口=14歳以下、生産人口=15～64歳、高齢人口=65歳以上

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	対20年比
和歌山県	922,584	875,458	827,214	777,790	728,026	679,003	631,619	68.5%
年少人口	105,598	93,258	81,529	73,443	68,593	63,582	57,920	54.8%
生産人口	509,212	476,296	443,145	406,090	359,647	325,712	297,960	58.5%
高齢人口	307,774	305,904	302,540	298,257	299,786	289,709	275,739	89.6%
和歌山市	356,729	346,249	333,854	320,645	307,046	293,466	280,227	78.6%
年少人口	42,451	39,224	35,952	33,667	32,438	30,948	29,016	68.4%
生産人口	203,494	196,855	188,087	176,879	161,385	151,149	142,792	70.2%
高齢人口	110,784	110,170	109,815	110,099	113,223	111,369	108,419	97.9%
海南市	48,369	44,535	41,022	37,530	34,160	31,001	28,027	57.9%
年少人口	4,869	4,137	3,510	3,018	2,749	2,502	2,230	45.8%
生産人口	25,631	22,866	20,757	18,524	15,817	13,758	12,174	47.5%
高齢人口	17,869	17,532	16,755	15,988	15,594	14,741	13,623	76.2%
紀の川市	58,816	55,450	51,839	48,070	44,216	40,360	36,636	62.3%
年少人口	6,564	5,635	4,722	4,153	3,742	3,342	2,920	44.5%
生産人口	32,718	30,029	27,220	24,239	21,064	18,509	16,314	49.9%
高齢人口	19,534	19,786	19,897	19,678	19,410	18,509	17,402	89.1%
岩出市	53,967	53,445	52,603	51,349	49,648	47,643	45,396	84.1%
年少人口	7,312	6,644	5,867	5,400	5,154	4,803	4,348	59.5%
生産人口	33,631	32,763	31,511	29,388	26,227	24,163	22,638	67.3%
高齢人口	13,024	14,038	15,225	16,561	18,267	18,677	18,410	141.4%
紀美野町	8,256	7,270	6,355	5,510	4,723	4,002	3,368	40.8%
年少人口	585	473	351	272	223	185	148	25.3%
生産人口	3,662	3,065	2,633	2,219	1,738	1,365	1,088	29.7%
高齢人口	4,009	3,732	3,371	3,019	2,762	2,452	2,132	53.2%

- ・東京を除く46道府県で人口は減少、2040年以降は全都道府県で人口減少へ
- ・東京を含む南関東ブロックが占める人口割合は今後も増加へ
- ・年少人口と人口割合はすべての都道府県で減少傾向へ
- ・生産人口と人口割合は東京都以外減少傾向へ
- ・高齢人口は大都市圏・沖縄県は増加、それ以外は減少
- ・2050年には25道県で高齢人口割合が40%以上に、46道府県で75歳以上人口割合が20%以上に

東京一極集中は変わらない？

上に社人研の推計結果の要旨を掲載しています。東京都は今後もしばらくは人口増加が続き、南関東ブロックが占める総人口割合も増加が続くとみられています。東京一極集中を是正する様々な政策が続けられていますが、人口動態の面で見ると十分な成果には至っていないことがうかがえます。

和歌山都市圏は明暗が分かれる

右表は和歌山県全体と、本紙関係エリア自治体の5年ごとの年少・生産・高齢人口の推移をまとめたものです。2018年に発表された前回の推計に比べると、和歌山市と紀美野町はやや上方修正されていますが、その他の3市町は下方修正されています。今回は岩出市もやや下方修正されており、2040年には2013年の前回推計時の人口をも下回る結果が示されています。

入実績、20歳から44歳の女性と0歳から4歳の子どもの人数の比率など、データの使われ方など、今回の推計人口が、前回推計を上回った和歌山市と紀美野町では、こうした数値が従来より改善されたとみられます。逆に、海南市、紀の川市、岩出市の3市は前回推計時よりも多くの人口減少を示唆する数値が算出されたものとみられます。

とはいえ激減傾向

前回と比べると推計結果が上方修正された自治体、下方修正された自治体、いろいろありますが、それでも人口が減少することには変わりありません。

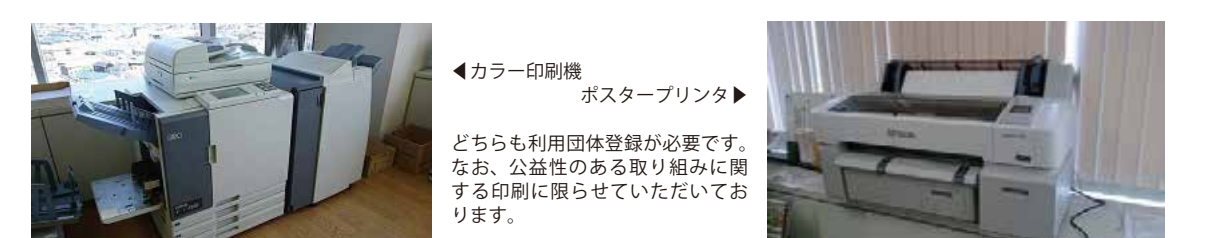
もはや「撤退戦」？

国内で人口問題が大きく取り上げられたのは、1989年の「1・57ショック」。合計特殊出生率がひのえうまだった1966年の1・58を下回ったことは大きな衝撃をもって捉えられました。その後様々な子育て支援施策が展開されましたが、結果として出生率は大きく改善することはありませんでした。

2014年の「消滅可能性都市」の発表で改めて人口減少問題がクローズアップされ、全自治体で「人口ビジョン」が策定されました。ただ1・57ショックからすでに35年が経過し、若い世代が現に大幅に少なくなっている以上、すべての自治体で人口が増えることはあり得ません。また人口ビジョンの策定から既に数年が経過しています。そして人口は行政だけが旗を振っただけではどうにもなる問題ではありません。



みなさんの「地域を元気にする」活動を応援します！
和歌山県 NPO サポートセンターをご利用ください
和歌山ビッグ愛9階にある和歌山県 NPO サポートセンターは、県民のみなさまの公益的な活動を総合的に応援する施設です。ご利用をお待ちしています！



◀カラー印刷機
ポスタープリンタ▶

どちらも利用団体登録が必要です。なお、公益性のある取り組みに関する印刷に限らせていただいております。

ご利用いただける団体
和歌山県内で NPO 法人、NPO・ボランティア団体、公益社団・公益財団法人、一般社団・財団法人などの組織形態で、公益性のある活動をおこなっている団体。
※ ご相談や情報収集は個人・企業の方でもご利用いただけます。

各種事務機器
カラー印刷機、ポスタープリンタなどをご利用いただけます（一部機器を除き、実費負担が必要です）。

ご相談
▶ NPO 法人の設立・運営（定款変更や事業報告、役員変更等）にまつわる実務
▶ NPO・ボランティア団体の運営実務
▶ 企業の社会貢献活動等のパートナーとしての NPO 法人等のマッチングなど
※ ご相談は、窓口・メール・オンライン等で承っています。来所の場合はご予約ください。

会議室
会議室を無料でご利用いただけます。
※ 会議室は和歌山県ジェンダー平等推進センター「りいぶる」、和歌山県青少年活動センターとの共用で、申込み受付と管理はジェンダー平等推進センターが担当しています。



情報収集・発信
▶ NPO・ボランティア団体のイベント情報の収集と発信
▶ 助成金をはじめとした各種支援情報の収集と発信
▶ 法律で定められた NPO 法人の情報公開資料（事業報告書等）の閲覧・縦覧
▶ NPO 等に関する書籍貸し出し等

情報ブログ・メールマガジン
当センターに届いたイベント情報や助成金等の活動支援情報はブログ（随時更新）、メールマガジン（毎月2回配信）で発信しています。
イベント情報
助成金等情報
メルマガ配信登録はこちらから

和歌山県 NPO サポートセンター
和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 9 階
受付時間 9:00～20:50（日曜は 17:30） 休館日：月曜・祝祭日・年末年始
TEL 073-435-5424 FAX 073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp
わかやま NPO 広場 <https://www.wakayama-npo.jp/>